

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">比較教育学特講</p>	<p>対象学科・学年 専攻科教福1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">開沼 太郎</p>																																
<p>授業テーマ</p> <p>比較教育学の基礎概念や課題、研究方法を理解し、わが国の教育現象との比較を通して諸課題の把握を試みる。</p>																																		
<p>授業の概要と目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「比較行政学」とは何か、その目的や対象、意義について、具体的な比較プロセスを通じて理解を深める。 2、教育学としての比較教育学研究の技法を概観し、科学的な視座の獲得を目指す。 3、わが国の教育制度や教育政策、教育改革の動向を、国際比較研究を通じて検討し、関係性を理解する。 																																		
<p>評価方法</p> <p>平常点（出席時の小テスト・小レポート）：30%程度、課題演習（発表や提出）：70%程度 を目安に総合評価を実施する。 状況に応じて試験を実施する場合もある。</p>																																		
<p>テキスト</p> <p>講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>																																
<p>参考書</p> <p>講義時に適宜指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>																																
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">題目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(01) ガイダンス</td> <td>本講義の概要について</td> </tr> <tr> <td>(02) 「比較教育学」とは</td> <td>比較教育学の概念、研究の目的、課題 など</td> </tr> <tr> <td>(03) 比較教育学の研究手法 ①</td> <td>主要な研究手法の紹介と解釈について</td> </tr> <tr> <td>(04) 比較教育学の研究手法 ②</td> <td>具体的な研究事例の検討と課題の把握</td> </tr> <tr> <td>(05) 比較教育学研究の史的展開</td> <td>比較教育研究の流れと現代的特徴について</td> </tr> <tr> <td>(06) 教育制度の国際比較</td> <td>(諸外国の教育制度や教育方法、カリキュラムについて概観し、</td> </tr> <tr> <td>(07) 学校教育の国際比較</td> <td>国際比較を通じて、わが国の教育の性格や特徴、</td> </tr> <tr> <td>(08) 教育行政の国際比較</td> <td>直面する現代的課題の把握を試みる。)</td> </tr> <tr> <td>(09) 教育改革の国際比較</td> <td>今日のわが国の教育改革と国際的潮流との関係性について</td> </tr> <tr> <td>(10) 生涯学習体系の国際的動向</td> <td>「生涯学習」概念の成立と展開における国際的動向について</td> </tr> <tr> <td>(11) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ①</td> <td>「少子高齢化社会」をめぐる国際間格差と教育的課題</td> </tr> <tr> <td>(12) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ②</td> <td>「国際化社会」と国際理解、国際協力、教育や文化の交流について</td> </tr> <tr> <td>(13) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ③</td> <td>「情報化社会」と ICT 教育の国際的動向の比較</td> </tr> <tr> <td>(14) 比較教育学研究の実際</td> <td>現在の研究動向のレビュー、意見交換 など</td> </tr> <tr> <td>(15) まとめ</td> <td>本講義のまとめ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 授業では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。</p>			題目	内容	(01) ガイダンス	本講義の概要について	(02) 「比較教育学」とは	比較教育学の概念、研究の目的、課題 など	(03) 比較教育学の研究手法 ①	主要な研究手法の紹介と解釈について	(04) 比較教育学の研究手法 ②	具体的な研究事例の検討と課題の把握	(05) 比較教育学研究の史的展開	比較教育研究の流れと現代的特徴について	(06) 教育制度の国際比較	(諸外国の教育制度や教育方法、カリキュラムについて概観し、	(07) 学校教育の国際比較	国際比較を通じて、わが国の教育の性格や特徴、	(08) 教育行政の国際比較	直面する現代的課題の把握を試みる。)	(09) 教育改革の国際比較	今日のわが国の教育改革と国際的潮流との関係性について	(10) 生涯学習体系の国際的動向	「生涯学習」概念の成立と展開における国際的動向について	(11) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ①	「少子高齢化社会」をめぐる国際間格差と教育的課題	(12) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ②	「国際化社会」と国際理解、国際協力、教育や文化の交流について	(13) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ③	「情報化社会」と ICT 教育の国際的動向の比較	(14) 比較教育学研究の実際	現在の研究動向のレビュー、意見交換 など	(15) まとめ	本講義のまとめ
題目	内容																																	
(01) ガイダンス	本講義の概要について																																	
(02) 「比較教育学」とは	比較教育学の概念、研究の目的、課題 など																																	
(03) 比較教育学の研究手法 ①	主要な研究手法の紹介と解釈について																																	
(04) 比較教育学の研究手法 ②	具体的な研究事例の検討と課題の把握																																	
(05) 比較教育学研究の史的展開	比較教育研究の流れと現代的特徴について																																	
(06) 教育制度の国際比較	(諸外国の教育制度や教育方法、カリキュラムについて概観し、																																	
(07) 学校教育の国際比較	国際比較を通じて、わが国の教育の性格や特徴、																																	
(08) 教育行政の国際比較	直面する現代的課題の把握を試みる。)																																	
(09) 教育改革の国際比較	今日のわが国の教育改革と国際的潮流との関係性について																																	
(10) 生涯学習体系の国際的動向	「生涯学習」概念の成立と展開における国際的動向について																																	
(11) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ①	「少子高齢化社会」をめぐる国際間格差と教育的課題																																	
(12) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ②	「国際化社会」と国際理解、国際協力、教育や文化の交流について																																	
(13) 社会の変化への対応と教育の国際比較 ③	「情報化社会」と ICT 教育の国際的動向の比較																																	
(14) 比較教育学研究の実際	現在の研究動向のレビュー、意見交換 など																																	
(15) まとめ	本講義のまとめ																																	